

被災地の一日も早い復興を願いながら、できることを粛々と行なっていきたいと思えます。

平成31年1月の新設住宅着工は67,087戸で、前年同月と比較すると、貸し家は減少しましたが、持ち家と分譲住宅が増加したために、全体で1.1%の増加となりました。2か月連続の増加です。

季節調整済み年率換算値は872,000戸。前月比9.3%減で、4か月ぶりの減少です。

持家は20,925戸で前年同月比3.3%増、4か月連続の増加です。

貸し家は24,776戸で、12.3%減、5か月連続の減少です。

分譲住宅は20,911戸で19.8%増、6か月連続の増加。

内、マンションは9,368戸、43.6%増。6か月連続の増加。

一戸建て住宅は11,190戸、4.2%増、2か月連続の増加。

地域別では、首都圏対前年同月比4.4%減、中部圏0.5%減、その他地域は1.4%減です。

近畿圏は、対前年同月比23.7%増です。

近畿の府県別対前年同月比は、滋賀25.8%減、京都62.6%増、大阪36.9%増、兵庫15.2%増、奈良21.7%減、和歌山26.0%減でした。

東京は対前年同月比4.7%減、愛知は10.5%増です。

民間非居住建築物は、前年同月との比較では、事務所と店舗は減少しましたが、工場と倉庫が増加したので、全体で増加となりました。

全建築物の着工床面積は、972万m²で、前年同月比2.6%増です。

2か月連続の増加です。

民間非居住用の事務所は42万m²で前年同月比26.3%減、先月の増加から再びの減少。

店舗は34万m²で40.6%減、先月の増加から再びの減少。

工場は100万m²で50.5%増、3か月ぶりの増加。

倉庫は65万m²で15.9%増、2か月連続の増加。

全建築物の近畿の府県別対前年同月比は、滋賀5.5%減、京都10.6%減、大阪51.7%増、兵庫13.6%減、奈良38.5%減、和歌山113.1%増でした。

東京は対前年同月比30.3%減、愛知は7.9%増です。



材木、合板ともに、全般に品薄・値上がり傾向が続いています。



環境対策の点からも、木材は循環型の再生可能な資源です。燃やされない限り、木材は二酸化炭素を体内に固定し続けます。新たに植樹することにより、若木のCO₂吸収量は活発化します。木材を使うこと自体は、決して森林破壊にはなりません。

仮設材に使用される木材も、単なるゴミはならず、木材チップなどに再利用されています。

木材を多くご利用いただけることは、環境を良くするという事をご理解いただけたら幸いです。

NO. 1 仮設材について

仮設材の流通在庫では依然として、矢板関係が品薄の状況です。リン木も少なくなっています。型枠用合板も品薄状態です。

横矢板既製品寸法の厚み27mm・30mm・35mmは在庫しています。

栈木は仮囲い用の仮設栈(栈木2等品)をご用意しています。

リン木は桧・杉材や米樫材にてご用意(時期により在庫樹種は変わります)。

養生ベニヤはNONJAS品のため、住宅養生には適しません。厚みムラもあります。



NO. 2 米松梁材について

米材の入荷量はまだ少ない状況です。

国内製材大手ナンバー2の事業撤退の影響が気になるようです。



NO. 3 外国産構造材について

ホワイトウッド材の流通在庫は3m4mともますます深刻な状況になっています。現地生産の減少によりオーダーが予定通り入荷しない状態です。この傾向は恒常的になりそうです。

米松羽柄材も依然流通量は少ない状況です。

ロシア赤松材も良品を中心に入荷量が少ない状況が続いています。



NO. 4 国産構造材について

原木出材量が減少し、杉KD柱材や桧土台は不足感が増えています。

国産材を使用する意義は、国内山林の環境保護・国内林業の活性化・自給率UP・花粉症対策だと思えます。

そして、国産材の域に留まらず、地域材を積極的に使っていかうという気運もあります。

知名度は低いですが、「大阪府内産材」にも同じ動きが官公庁関係を中心に出ています。

弊社は大阪府内産材を積極的にPRしています。

特に大阪府の特徴でもある桧材の流通を目指しています。

公共建築物等木材利用促進法の成立により、国産材は脚光を浴びています。

NO. 5 造作材 米樫無節・上小節材(粗木)について

別注品対応をしています。



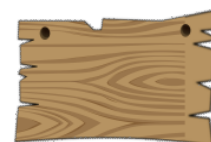
NO. 6 無垢材について

建材造作材の一般住宅への定番化により、無垢材利用がかなり減っています。

樹種を問わず、原木・製材品化されたもの共に、入荷量が少なくなっています。

NO. 7 積層材について

積層材既製品(フリー板)の取り扱いアイテムを増やしています。



NO. 8 内外装下地材について(ベニヤ・ボード等)

ラワン合板は、流通在庫が安定傾向になってきました。価格はアイテムにより動きが異なります。

針葉樹合板は、メーカー生産量の減少で在庫量が少なく品薄傾向が続いています。価格は若干上昇気味です。

パーティクルボードは、供給体制が回復しつつありますが予断を許しません。

ケイカル板は、5mmに代わって6mmを在庫しています。

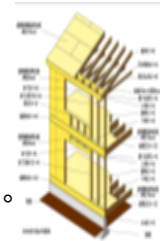
ケイカル板の品薄状態が続いています。

NO. 9 内装仕上げ材について(建材メーカー商品等)

パナソニックは、1月にベリティスなどを値上げしました。

パナソニックと特約代理店契約を結んでいます。

特に、内装ドア、造作材、床材などの内装建材のサービスが充実しています。



NO. 10 断熱材関係商品について

グラスウールの在庫状況は安定していますが、ロックウールは少なくなっています。

NO. 11 養生材について

養生材の販売強化に努めています。



NO. 12 接着剤について

接着剤も値上げ傾向です。

NO. 13 金物・現場備品について

販売強化に努めています。

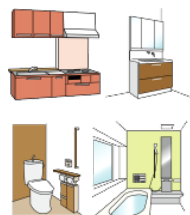


NO. 14 加工費について

加工に強い会社を目指しています。

NO. 15 各建材メーカー商品について

システムキッチン・ユニットバスなどの水回り設備機器商品の納期は、各メーカーとも安定。



大阪府の補助金事業「木のぬくもり推進事業」

民間の幼稚園や保育園、認定こども園などでの「木育」を推進するために、施設の木質化を図っていかうという事業です。

山忠木材は、この事業にまじめに取り組んでいます。



地産地生 — 地域材

大阪府内産を始め、京都府内産・市内産など地域材活用を推進しています。

国産材・地域材志向のお施主様のお役に立ちます。
地元愛のために活動しています。
品質の良さをわかってもらえるよう努めます。



福祉

健康福祉用品・介護用品を販売しています。
介護保険適用特定福祉用具販売事業者です。
介護用品レンタルも始めました(介護保険適用外)。
介護保険適用事業所 **たろうの店 きごころ**



「特定福祉用具販売・特定介護予防福祉用具販売」 事業所番号2772701435



安らぎ — 災害への備え

住まいの健康チェック



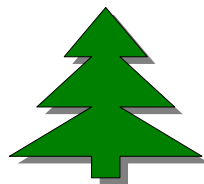
思いやり — エコロジー



日本の和 — 和の商材



日本には日本の木を、大阪には大阪の木を、と願って、
優しさと安らぎと思いやりをテーマに
地域の福祉や環境に貢献できるような、
まじめな会社と言われたい。



ご用命をよろしくお願ひ申し上げます。

山忠木材株式会社

大阪市大正区千島3-18-9

TEL 06-6552-0781

FAX 06-6552-0784

